

文化期の庄屋・大庄屋文書、箱 14.18 の概要

東 昇

本報告書に掲載した目録の箱 14 - 1120 点、箱 18 - 671 点、計 1791 点は全体の約 2 割にあたり、近世の大庄屋関係の文書が多い。そして、木船家が大庄屋に就任した文化期（1804～1818）は庄屋と大庄屋を交互に務めており、庄屋文書と大庄屋文書が混在する。この文化期の年代が記載される文書全 83 点中、箱 14 - 30 点、箱 18 - 36 点と全体の 8 割を占め、この箱の特徴といえる。そこで、大庄屋引継目録の比較、文化期の文書の特徴から概要を述べたい。

1 大庄屋引継目録の比較

文化期の大庄屋の交代は、「大庄屋名前記録」（木船衛門家文書 14-945）から判明する。祖母谷組大庄屋は、溝尻村矢野久兵衛が、寛政 12 年（1800）2 月から文化 3 年（1806）1 月 7 日に死去するまで在任、その後、泉源寺村大庄屋梅垣西浦が預かることとなった。同年 4 月 13 日、木船惣右衛門が大庄屋となり、文化 9 年 10 月まで務めた。同年 10 月 17 日からは森村の高橋大家が大庄屋となり、文化 12 年 10 月 5 日御免、10 月 8 日木船衛門（惣右衛門改名）が帰役し、天保 3 年（1832）12 月に死去するまで務めた。また矢野の後、一時期祖母谷組を預かった志楽組大庄屋梅垣西浦は、文化 8 年 7 月 14 日御免となり、木船惣右衛門が志楽組を預かった。その後、文化 9 年 10 月 17 日吉坂村福村弥平次が志楽組大庄屋となる。

このように、木船衛門は文化期に祖母谷組大庄屋に 2 度就任し、志楽組を 1 度預かっている。そのため大庄屋の文書の引継目録が以下 4 点存在する。

- ①文化 8 年 8 月「大庄屋諸帳面引渡帳」（14-646）泉源寺村西浦→大庄屋惣右衛門
- ②文化 9 年 10 月「大庄屋諸帳面請取帳」（14-908）大庄屋大屋→惣右衛門（表 1）
- ③文化 9 年 10 月「大庄屋諸帳面引渡帳」（14-645）大庄屋代吉坂村弥平次→惣右衛門（表 2）
- ④文化 12 年 10 月「大庄屋諸帳面目録」（14-647）伊佐津村九右衛門→大庄屋惣右衛門

祖母谷組関係が②④、志楽組が①③であり、④は中筋組大庄屋堀江九右衛門である。②と③は、同年月に木船衛門が祖母谷・志楽組各大庄屋へ引き継いだ目録であり、両組を比較すると大庄屋として共通する文書が多い。共通する文書は、宗門帳、家中中間・奉公人、家中茅割帳、先納割帳、桐実運上帳、村々惣遣帳、火事焼失割、大麦拝借、拝借銀、御献上暮藪手形、調達証文、稲木願帳、町宿、御免鉄砲帳、御検見枡である。人や賦課、拝借、鉄砲の把握や、藩役人や町宿など他集団との関連文書である。一方、各組独自の文書として、②祖母谷組一年代未記載、制札、頼母子・質入、自普請願帳、困糶、野形見分、他所稼、③志楽組一文書年代（享保～文化期）記載、山論・立山、一件ものが多く、組中免御用捨割帳、組高名寄諸色帳、組中勘定帳、漆畑改帳、街道定杭帳、分銅員数帳がある。独自文書いずれも両大庄屋文書に存在した可能性はあるが、西国街道沿いの志楽組の街道定杭帳など組の特徴を示すものもある。

2 文化期の庄屋文書

木船惣右衛門（54歳、18-535）は、文化9年大庄屋を退役し、息子の藤右衛門（23歳）が文化10年溝尻村の庄屋に就任した。文化10年2月に先役伊右衛門から藤右衛門宛に庄屋文書の引継目録（18-528）が送られ、54冊・51本の文書が記されている。文化12年10月には新庄屋久左衛門から藤右衛門宛に庄屋文書を受領した目録（18-529）があり、51冊・54本の文書を引き渡して、庄屋を退役した。これらの文書には、当用水帳、新畑新林改帳、稲草帳、売買証文控帳、竹藪改帳など、年貢賦課の基準となる帳簿が多い。

また、文化11年8月、藤右衛門から先役伊右衛門へ諸勘定帳簿19冊を差し戻していることがわかる（18-527）。それらは申（文化9）年の年貢米納帳、高成詰帳、運上取立帳、御介抱割帳、惣遣割帳など、年貢・運上に関わる帳簿であった。これらの文書は、先の庄屋引継の文書目録には掲載されておらず、別に引き継がれた可能性がある。そして、現在の木船衛門家文書に存在しない。しかし、文化10、11年の「幾利死丹宗門御改帳」（18-535、536）、文化11年「溝尻村新砂入歩畝改帳」（18-530）など庄屋文書は現存している。

また、藤右衛門は庄屋になる文化10年の正月から「諸事書上帳」（1-365）を作成し、年頭務方、節句務方、借用認方覚、御代官御出役之節祝儀覚、暑気見舞、稲草帳之事等割振など、藩役人との付き合いや業務の次第、各種文書の雛形等、庄屋の基本業務を記録している。藤右衛門は、天保3年（1832）11月惣右衛門の死去に伴い、衛門と改名し安政2年（1855）までの24年間大庄屋を務めた。その間、天保3年「辰之当座日記覚帳」（18-223）をはじめ、「当座帳」「御用諸事日記心覚」など、毎年、大庄屋業務・会計等を記録し業務把握していたと指摘されている（長谷川巴南「丹後国田辺藩大庄屋木船家文書の調査と概要」19頁）。今後の大庄屋文書研究は、現存文書、文書目録、業務管理帳簿など多角的な視点から分析する必要があると考える。

表1 文化9年10月祖母谷組大庄屋引継目録

	年代	表題	数	形態
1		御公儀制札	1	枚
2		御検見枘、但1升・5合・1合 2ツ枘掛添	4	ツ
3	文化9	申之宗門帳	10	冊
4	文化9	申メ書帳	1	札
5	文化9	申認物目録帳	1	札
6	文化9	申定病人帳	1	札
7	文化9	申後判帳	1	札
8	文化9	申御呼出シ帳	1	札
9		自普請願帳	1	札
10		鋤台願帳	1	札
11		他所枿願帳	1	札
12		村々惣遣帳	1	札
13		川除願書	1	通
14		自普請伐出	1	通
15		鋤台木伐出	1	通
16	文化9	申宗門入用割帳	1	札
17	文化9	申御年貢収納割帳	3	札
18		御中間并奉公人帳	1	札
19		野形御見分人足帳	1	札
20		当組高名寄帳	1	札
21	文化9	申之御用諸割物帳	1	札
22	文化8	未野形入用割帳	1	札
23	文化8	未町宿書出帳	1	札
24	文化8	未大庄屋下通	2	札
25	文化9	申御家中茅割帳	1	札
26		大麦拝借証文	2	通
27		御囲糶差上証文	1	通
28		村々稲木願書	1	通
29		堂奥村治左衛門鉄砲札	1	枚
30		御献上暮藪手形	1	通
31		牛田御氏内々御書付	1	通
32	文化9	申3月桐実運上帳	1	札
33	文化8	未申先納割帳	1	札
34	文化9	申西先納割帳	1	札
35	文化9	申先納御差継米割帳	1	札
36		組内頼母子証文	13	包
37		組内村々質入帳	9	冊
38		組内村々割帳	1	冊
39		諸職分名前帳	1	札
40		組内御免鉄砲帳	1	札
41		由良村焼失割帳	1	札
42		新拝借鉄砲証文	1	通
43	文化8	未年調達二付組の証文	1	通
44	文化8	未12月拝借銀証文	1	通
45		古調達之筋証文	1	通

出典：木船衛門家文書 14-908「大庄屋諸帳面請取帳」

注：年代は干支による

表2 文化9年10月志楽組大庄屋引継目録

	年代	表題	数	形態
1	享保 18	組中免御用捨割帳	1	冊
2	享保 9	組高名寄諸色帳	1	札
3	元文 2	上大波村山論御裁許書、但 写書付并絵図面午改共箱入	1	本
4	元禄 6、 享保 14	組中勘定帳	2	札
5		御検見枡、但初斗枡かけと も	1	ツ
6	寛保 4、 延享 2	漆畑御改帳	2	札
7	安永 5	安永五申御改漆畑帳、但代 銀札書入	1	通
8	寛延 2	御立敷御払帳	1	札
9	元文 5	杵山村山中村山論帳	1	札
10	宝暦 12	御免獵師鉄砲帳	1	札
11	享保 20	諸色名寄帳、但袋入	1	札
12	安永 8	下谷村土手敷帳、但畑成之 記	1	札
13		由良村城屋村火事割帳	2	札
14		江戸枡、1升・5合・1合	3	ツ
15		大庄屋達記録書	1	通
16	寛政 7	御街道定杭帳	1	札
17	寛政 5	御建山帳	1	札
18	寛政 2	大麦拝借証文控帳	1	札
19	寛政 2	稲木願帳	1	札
20	文化 2	庄郷御改帳	1	札
21	文化 5	分銅員数帳	1	札
22		御頼調達証文、但村々庄屋 方連印	1	通
23	文化 9	宗門帳面	16	札
24	文化 9	宗門ノ書帳	1	札
25	文化 9	宗門病人帳	1	札
26	文化 9	宗門後判帳	1	札
27	文化 9	宗門呼出シ帳	1	札

	年代	表題	数	形態
28	文化 8	諸願書帳	1	札
29	文化 9	村々惣遺帳	1	札
30	文化 9	訳書帳	1	札
31	文化 8	組為代帳	2	札
32	文化 8	組仕分帳	2	札
33	文化 8	組通写帳	1	札
34	文化 8	大庄屋下帳	1	札
35	文化 8	組割帳	1	札
36	文化 8	大庄屋取替書出シ帳	1	札
37	文化 8	田邊屋書出シ帳	1	札
38	文化 9	宗門入用割帳	1	札
39	文化 2	御家中奉公人願書帳	1	札
40	文化 9	申御用諸割物帳、但年季御中間并 月抱共書入	1	札
41	(文化 9)	申川除入用伐出し願書帳	1	札
42	(文化 9)	申泉源寺田中同断	1	札
43	(文化 9)	申御年貢収納割帳	1	札
44	(文化 8)	未申先納割帳	1	札
45	(文化 9)	申西先納割帳	1	札
46	(文化 9)	申先納御差継米割帳	1	札
47	(文化 8)	未 12 月村拝借証文	1	通
48	(文化 8)	未年改調達証文、但郷中江 150 貫 匁 1 割 5 分 10 年賦被仰付候二付、 村々承知之上庄屋方連印	1	通
49		市場重左衛門願書、但酒株売買二 付北有路村嘉左衛門ト一件	1	通
50	(文化 9)	申御家中御頼茅割帳	1	札
51		杵山松尾山山論済状、但絵図面両 村へ為取替之控	1	通
52		御献上暮藪手形、但組屋新兵衛方	1	通
53	(文化 9)	申 3 月桐実運上帳	1	札
54	(文化 9)	申ノ 9 月 2 日下谷村焼割、但役屋 百姓水呑共 9 軒右組切二付取扱割 出帳	1	札

出典：木船衛門家文書 14-645 「大庄屋諸帳面請取帳」

表紙の解説

	1	2	3
5		4	
(裏)		(表)	

- 1 「まるまる舞鶴」WEB
- 2 日下安左衛門家相図(部分、木船衛門家文書 17-233)
- 3 舞鶴地方史研究会との共同調査 長谷川巴南撮影
- 4 東舞鶴港俯瞰(多祢山からの展望) 松岡秀雄氏撮影
- 5 東舞鶴高校での授業風景 長谷川巴南撮影

京都府立大学文化遺産叢書(2008～ 京都関係)

- 1 南山城・宇治地域を中心とする歴史遺産・文化的景観の研究
- 3 八幡地域の古文書と石清水八幡宮の絵図:地域文化遺産の情報化
- 4 八幡地域の古文書・石造物・景観:地域文化遺産の情報化
- 5 丹後・宮津の街道と信仰
- 6 城陽市域の地域文化遺産:神社・街道の文化遺産と景観
- 9 和束地域の歴史と文化遺産
- 10 石清水門前寺院・南山城地域の古文書:京都府歴史資料の調査
- 11 舞鶴地域の文化遺産と活用
- 12 「丹後の海」の歴史と文化
- 14 舞鶴・京丹後地域の文化遺産
- 16 舞鶴の地域連携と世代間交流:井上奥本家文書調査報告
- 18 京都東山・三嶋神社文書調査報告
- 19 京都雲ヶ畑・波多野六之丞家文書調査報告
- 20 綾部地域における文化資源の発掘と継承
- 21 京都山伏山町文書調査報告
- 22 あのころの雲ヶ畑:京都雲ヶ畑写真資料調査報告
- 23 文化財の保存活用と地域コミュニティ
- 26 京丹後市久美浜町太刀宮文書(久美浜代官所郡中代文書)・佐治家資料調査と御用留横断研究
- 27 君尾山光明寺文化財調査報告・由良神社文化財調査報告
- 28 夜久野の後期古墳と末窯跡群



京都府立大学文化遺産叢書 第30集

舞鶴木船衛門家文書調査報告 京都府北部MALUI連携事業

編集 東昇
発行 京都府立大学文学部歴史学科
〒606-8522 京都市左京区下鴨半木町1-5
発行日 2024年3月31日
印刷 株式会社サンエムカラー
〒601-8371 京都市南区吉祥院嶋檜山町37